

学 会 記 事

I. 令和元年度緑鳳学会第28回大会

1. 開催日時 令和元年10月26日(土) 10時30分～16時40分(受付開始10時00分)

2. 開催場所 (大会(専修大学神田校舎 7号館 3階731教室
(総会・懇親会(専修大学神田校舎 1号館15階「報恩の間」

3. プログラム

(1) 研究発表会(10時30分～12時30分)

研究発表 I

【発表者】 山澤 啓司 (専修大学大学院法学研究科博士後期課程公法学専攻2年次)

【テーマ】 脱植民地化における自決権の機能と役割
— 植民地に付与された「特別の地位」をめぐる —

研究発表 II

【発表者】 岩澤 龍彦 (専修大学大学院文学研究科博士後期課程哲学専攻1年次)

【テーマ】 1931/32年モスクワ改造コンペにおけるハンネス・マイヤー案とエルンスト・マイ案について

(2) パネルディスカッション(13時30分～16時40分)

統一テーマ：渋沢栄一の歩んだ時代とその軌跡—令和の時代に示唆するもの—
○報告

報告 I

【報告者】 小杉 伸次 (札幌学院大学名誉教授)

【テーマ】 現代にあっても渋沢栄一の理念は有用か

報告 II

【報告者】 近江 吉明 (専修大学文学部教授)

【テーマ】 渋沢栄一に入り込んだ<思想>はサン・シモンのそれだったのか

報告 III

【報告者】 坂詰 智美 (専修大学法学部准教授)

【テーマ】 渋沢の関わった女子教育

報告 IV

【報告者】 大澤 史伸 (東北学院大学教養学部准教授)

【テーマ】 渋沢栄一の福祉思想—現代に渋沢の福祉理念を継承するには—

報告 V

【報告者】 久保 成史 (関西学院大学法科大学院非常勤講師)

【テーマ】 現代会社と企業倫理—会社法的アプローチ—

○パネルディスカッション

(3) 総会・懇親会(17時00分～18時30分)

1) 総会

1. 開会の辞

2. 挨拶

専修大学緑鳳学会 会長 小杉 伸次

専修大学 学長 佐々木 重人

3. 議事

(1) 会務報告

(2) 監査報告

(3) その他

4. 閉会の辞

2) 懇親会

II. 役員会の開催

【令和元年度 第2回役員会】

日 時	令和元年10月26日(土) 12時30分～13時20分
場 所	専修大学神田校舎 7号館8階784教室
出席者	小杉 伸次、宇佐美 嘉弘、近江 吉明、大澤 史伸、岡田 好史、坂詰 智美、坪井 順一、谷口 智紀、松原 直樹、三森 敏正、矢吹 芳洋、森田 悦史、矢邊 均
議 題	<p>議事に先立ち、小杉 伸次会長より、挨拶があり、引き続き小杉 伸次会長が議長となり、議事に入る。</p> <p>(1) 次年度大会の開催について</p> <p>1) 開催日時について 令和2年10月24日(土)に開催することが承認された。</p> <p>2) 開催場所について 神田校舎で開催することが承認された。</p> <p>(2) 次回役員会の開催について 令和元年12月20日(金) 18時30分より開催することが承認された。</p>

(3) その他

1) 緑鳳学会総会等の実施について

2) 第28回大会総会議事録の署名者 2名について

矢吹 芳洋幹事・宇佐美 嘉弘幹事の2名が署名者として承認された。

3) その他

①役員改選について

令和2・3年度緑鳳学会役員会案が原案どおり承認され総会に諮ることとなった。

②新入会希望者について

以下の入会申込書が提示され、正会員・準会員としての入会が承認された。

・岡本 篤尚（正会員）

S60.3 専修大学 法学部 法律学科 卒業

H01.3 専修大学 法学研究科 修士課程 公法学専攻 修了

H08.3 専修大学 法学研究科 博士後期課程 公法学専攻 修了

・登坂 和雄（正会員）

S57.3 専修大学 法学部 法律学科 卒業

・山澤 啓司（準会員）

H27.3 専修大学 法学部 法律学科 卒業

H30.3 専修大学 法学研究科 修士課程 法学専攻 修了

R01.10 専修大学 法学研究科 博士後期課程 公法学専攻 在学中

・岩澤 龍彦（準会員）

H29.3 専修大学 経済学部 国際経済学科 卒業

H31.3 専修大学 文学研究科 修士課程 哲学専攻 修了

R01.3 専修大学 文学研究科 博士後期課程 哲学専攻 在学中

・平子 友紀（準会員）

H28.3 専修大学 法学部 法律学科 卒業

H30.3 専修大学 法学研究科 修士課程 法学専攻 修了

R01.10 専修大学 法学研究科 博士後期課程 公法学専攻 在学中

③専修大学学術機関リポジトリ (SI-Box) における学内紀要類の登録について (依頼)

今後投稿を依頼する際には、原則として電子化されること、本人が電子化を望まない場合には拒否できることを記載することが提案された。また、電子化を拒否される場合には事務局へ申し出ることも併せて記載することとなった。

以上

【令和元年度 第3回役員会】

日 時	令和元年12月20日（金）
場 所	源来酒家（東京都千代田区神田神保町3-3）
出 席 者	小杉 伸次、高橋 敏、宇佐美 嘉弘、近江 吉明、谷口 智紀、三森 敏正、 矢邊 均 ※上記以外にオブザーバーとして楠政己氏、久保成史氏、谷ヶ城秀吉氏（次期役員）が出席
議 題	<p>議事に先立ち、小杉 伸次会長より挨拶があり、引き続き高橋 敏副会長が議長となり、議事に入る。</p> <p>(1) 令和2年度専修大学緑鳳学会第29回大会開催について 議論の結果、以下のとおり承認された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 開催日は、令和2年10月24日（土）とする。 2) 開催場所は、専修大学神田校舎とする。 大会は7号館、総会・懇親会は1号館15階「報恩の間」とする。 3) 当日のスケジュール 3月の役員会で話し合うこととする。 2月までに新旧役員にパネルディスカッションのテーマを募集し、3月には素案を作成する。 <p>(2) 機関誌「専修総合科学研究第28号」の発行（投稿者等）について 議論の結果、以下のとおり承認された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 〔第28回大会発表者〕（投稿優先者）について 山澤 啓司（専修大学大学院法学研究科博士後期課程公法学専攻2年次） 岩澤 龍彦（専修大学大学院文学研究科博士後期課程哲学専攻1年次） 2) 研究発表希望者・機関誌「専修総合科学研究第28号」投稿希望者募集締切日について その他の掲載論文については、例年どおり5～6編は、会員に通知して執筆募集する。募集締め切り日は、令和2年3月2日（月）とする。 <p>(3) 次回役員会の開催について 議論の結果、以下のとおり承認された。 次回（第4回役員会）は、令和2年3月23日（月）15時00分～ 神田校舎開催とする。</p> <p>(4) その他について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 緑鳳学会入会希望者について 以下の入会申込書が提示され、正会員としての入会が承認された。 ・須藤 修司 S62.03 専修大学 経営学部 情報管理学科 卒業

	H18.03 早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科 修士課程 国際 経営学専攻 修了 R01.12現在 青山学院大学大学院 会計プロフェッション研究科 博士後期課程在学中 以 上
--	---

【令和元年度 第4回役員会】

日 時	令和2年4月27日（金） ※新型コロナウイルス感染拡のためメールによる投票形式で実施（締切日を記載） ※当開催予定 3月23日（月） → 延会：4月25日（土） →緊急事態宣言発令により対面実施が困難との判断でメールによる投票形式で実施
場 所	※メールによる投票形式での実施
出席者 (投票者)	小杉 伸次、伊吹 克己、高橋 敏、宮岡 孝之、石坂 信一郎、宇佐美 嘉 弘、 近江 吉明、岡田 好史、小西 範幸、坂詰 智美、坪井 順一、谷口 智紀、 松原 直樹、三森 敏正、矢吹 芳洋、森田 悦史、矢邊 均 ※第4回の延会のため旧役員での審議
議 題	新型コロナウイルス感染予防のため、3月25日（月）実施予定の第4回の役員会を 4月25日（土）に延会となった。令和元年度第4回役員会の延会のため、前役員で 審議することとなった。 さらに、4月6日からの緊急事態宣言を受けて、対面での会議を避けメールによる 書面投票での実施となった。 (1) 令和2年度専修大学緑鳳学会第29回大会開催（タイムスケジュール）につ いて 投票の結果、以下のとおり承認された。 タイムスケジュールの決定については2020年度の第1回役員会に委ねる こととなった。 (2) 第29回大会研究発表希望者について 投票の結果、以下のとおり承認された。 会員、準会員に募集の結果、1名の応募があった。 横井 里保 氏（専修大学法学研究科博士後期課程2年次→現3年次） テーマ「相続税の時価評価をめぐる問題」 ※大学院生に対しての発表者の募集は例年どおり5月末日を締切りに募集を 実施。 (3) パネルディスカッションの統一テーマについて 投票の結果、以下のとおり承認された。 募集の結果A案、B案の2案が提案され、投票の結果、A案に決定した。 A案 多発する自然災害を学際的に問う

	<p>—現在および今後の社会経済的影響、復旧・復興の在り方を考える—</p> <p>B案 「持続可能な企業と社会へ」(案)</p> <p>(4) 機関誌「専修総合科学研究第28号」原稿掲載希望者について 投票の結果、以下のとおり承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第28回大会発表者の優先投稿者2名の発表者のうち1名から投稿希望があり承認された。 <p>岩澤 龍彦 氏(文学研究科博士後期課程、準会員)</p> <p>テーマ「1930/31年モスクワ改造コンペにおけるハンネス・マイヤー案とエルンスト・マイ案について(仮)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投稿希望者8名のうち、掲載順位最下位の申し出があった1名を除く7名に掲載依頼を行うことで承認された。 ・原稿の提出締切日は、6月15日(月)とすることで承認された。 ・頁数が大幅に超える場合(6ページ以上の増ページ)には投稿後であっても不受理とすることが承認された。 <p>(5) 次回役員会(令和2年度第1回)の開催について 投票の結果、以下のとおり承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回役員会の開催は2020年7月(予定)とする。 <p style="text-align: right;">以 上</p>
--	--

【令和2年度 第1回役員会】

日 時	(メール投票) 令和2年6月30日(火)～7月20日(火) (縮小役員会) 令和2年8月7日(金) 17:00～18:00
場 所	(縮小役員会) 専修大学神田校舎7号館7階774教室 ※新型コロナウイルス感染防止のためメールによる書面投票を実施その後、会長、副会長により投票結果を調整するため縮小役員会を実施した
出席者	<p>【投票者】</p> <p>池本 卯典、近江 吉明、小西 範幸、森田 悦史、宇佐美 嘉弘、李 東勲、大澤 史伸、岡田 好史、楠 正己、久保 成史、坂詰 智美、谷口 智紀、松原 直樹、三森 敏正、宮岡 孝之、矢吹 芳洋、矢邊 均、田中 禎昭、谷ヶ城 秀吉</p> <p>【縮小役員会出席者】</p> <p>近江 吉明、小西 範幸、森田 悦史</p>
議 題	新型コロナウイルス感染防止のため、審議事項をメール投票により審議し、その後、会長、副会長により、縮小役員会を開催し意見調整を行うこととなった。

- (1) 令和2年度専修大学緑鳳学会第29回大会 大会、総会の実施方法について
- ・新型コロナウイルス感染拡大の状況を及び投票結果の対面での実施は困難であるとの意見をふまえ、大会（研究発表会、パネルディスカッション）をオンラインで開催することが承認された。
 - ・ツールはZOOMを使用し、アカウントは小西副会長に設定していただくこととなった。また、総会及び大会当日に実施している第2回緑鳳学会役員会は
 - ・大会前にメールで実施することが承認された。
 - ・大会に先立ち10月10日（土）に専修大学神田校舎7号館で送受信のテストを行うことが確認された。
- (2) 令和2年度専修大学緑鳳学会第29回大会 懇親会の実施について
新型コロナウイルス感染拡大の状況から会食は回避したほうがよいとの投票結果をふまえ、懇談会は中止することが承認された。
- (3) 令和2年度専修大学緑鳳学会第29回大会 業務分担、タイムスケジュールについて業務分担は以下のとおり承認された。
- ・開会の挨拶 近江 吉明（会長）
 - ・総合司会 小西 範幸（副会長）
 - ・閉会の挨拶 森田 悦史（副会長）
 - ・研究発表座長 谷口 智紀（幹事）※指導教授の増田英敏教授が都合により欠席、増田教授からの推薦
 - ・パネルディスカッションコーディネーター 近江 吉明
 - ・タイムスケジュールは、別紙参照（割愛）
- (4) 令和2年度専修大学緑鳳学会第29回大会 パネルディスカッションについて
- ・統一テーマを一部（副題削除）修正することが近江会長から提案され承認された。
 - 統一テーマ「多発する自然災害を学際的に問う」
 - ・オンラインでの実施に伴い、報告者を当初の5名から4名に変更することが近江会長から提案され承認された。
 - ・発表者は以下の4名を候補とすることが報告された。最終的な人選はコーディネーターである近江会長に一任された。
 - ・最終案（発表順）
 - (1) 近江 吉明（緑鳳学会会長・専修大学名誉教授）
 - (2) 田中 禎昭（監査、専修大学文学部教授）
 - (3) 李 東勲（幹事、石巻専修大学経営学部教授）
 - (4) 久保 成史（幹事、関西学院大学法科大学院非常勤講師）
- (5) その他

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・本会議（縮小役員会）の結果は、役員に対し議事録を送付し報告することが確認された。・会員への開催案内は役員への報告後、例年どおり名簿の掲載データの確認とともに郵送で通知することが確認された。・総会はメールで行うが大会の当日にパネルディスカッション終了後、閉会の挨拶の際に会務報告、監査報告の結果を森田副会長から報告することが提案され承認された。 |
|--|--|

以 上